

東北大学「サイエンスカフェ」の共催

当センターでは東北大学との共催により市民向け科学講座である「サイエンスカフェ」を山形市で開催し、東北大学の高桑雄二教授を講師に約50名の高校生をはじめ、一般市民の参加をいただいた。

講座は、「ナノ炭素素材の多様な世界」と題し、炭素素材とはなにか、炭素素材を使用した身近にあるものはどんなものがあるか、炭素素材で将来どのようなものができるのか等について講義した後、参加者によるディスカッションを実施した。

ディスカッションでは、研究者が参加者とともに8テーブルに分かれ、「炭素素材についての不思議に思っていること」などについて質疑が行われた。各テーブルから質問としていくつか紹介され、「炭素素材を用いた製品は低炭素社会に貢献しないのではないか」「ダイヤモンドはどうしてハンマーで叩くと壊れてしまうのか」などが出され、講演者はその場で答えていた。

※サイエンスカフェは、一般市民の方々と第一線で活躍する科学者が、ドリンク片手にサイエンスについて気軽に話し合い、楽しさを知ってもらう場として毎月、仙台市で開催している。



【開催概要】

1. 日時:平成24年11月17日(土)13:30~15:15
2. 場所:山形テルサ アプローチ(山形市)
3. テーマ:『ナノ炭素素材の多様な世界
～低炭素社会の持続的発展を支える基幹材料～』

【講師紹介】



高桑雄二 東北大学多元物質科学研究所 教授

1954年生まれ。山形県出身。

2010年より現職。

〔専門分野〕

表面物理学、材料科学、放射光科学、プロセス工学

〔研究テーマ〕

固体表面動的過程のリアルタイム表面計測に基づく機能性材料の創製と表面ナノプロセスの開発